



【基本理念】 私たちは、すべての人に等しく 仁愛の精神を持って接し、心の通う医療の実践に努めます。

【基本方針】 責任：生命の尊厳を第一の課題として重んじ責任をもって行動する

安全：すべての行為に対して細心の注意を払い安全の確保に努める

協調：チーム医療に徹し互いに協調しその実をあげることに努める

奉仕：すべての患者さまを等しく仁愛の精神を持って接し医療を通じて社会に奉仕する



年頭に当たって思うこと

病院長 村尾文規

年末に、恒例の世相を反映する言葉に圧倒的多数で選ばれた「偽」の意味は本物に似せていつわることと書いてある。人が為すことには偽りがあるとしても、次から次と偽装事件が露見し、毎日のようにTVの前でお詫び会見が続いた。異様ともいえる光景だ。何も今に始まったことではないようだが今年に限って何故なのか？内部情報が漏れたということも、告発されたということも、世間が不正を許さなかったということもあるであろう。天網恢恢疎にしてもらさずということかもしれない。某老舗料亭の偽装事件の謝罪会見で「パートタイムの社員が勝手に偽装した」と発言した。一言の言葉の重さを後になって思い知らされたに違いない。この料亭にとって最悪であったことは、営業停止による莫大な損失より 失った社員、顧客、食材を調達してくれる農家の方々との間の信頼関係を失ったことにあるはずだ。美食家をうならせるようなおいしい料理を作るシェフでさえも社員のみならず後方で食材を造り提

供してくれている人々によって支えられているはずだ。眼に見えるものに現を抜かし、眼に見えぬものの大切さを忘却してしまっていたのであろうか、一言で信頼の回復が更に遠のいた感否めない。従業員は、あるときはパートナーであり、あるときは相談役であるはずだ。立派な従業員がいれば会社は繁栄する。至極当然のことである。従業員は、会社の主役なのだから。役者が役割を忘れてしまっただけは作者の意図を観客に伝えることなど出来るはずがないし、喜ばせることなど論外である。翻って、私達は、ものを売る仕事ではない、心を

売ることが仕事である。尚更、信頼することの重要性が問われる。今年も、また、眼に見えるものではなく、眼に見えないものの大切さに気づかせてくれた各職員に感謝して脇役に徹したいと思っている。脇役の役割は主役を助け、相互の心の絆を結び一層深い信頼関係を創造することにあると思っている。



庄原同仁病院スタッフ 2008年に向けて



1病棟スタッフ



笑顔のある明るい病棟にしよう

2病棟スタッフ



今年も 毎日 笑顔! 笑顔!!

栄養課スタッフ



患者様の笑顔が見られる食事作りを目指していきます

薬剤科スタッフ



「薬」の専門家として研鑽を積み、医療の実践に尽力

理学療法科スタッフ



笑顔と元気があふれる環境作りを目指します

管理部スタッフ



心のこもった対応 心を込めた環境管理!!



シーティング基礎講習会に参加して

理学療法士 西村 修

～ 理想的な車いす座位と「ずっこけ座り」について～

昨年の5月に遡りますが、車いす座位の基礎知識を得る為に講習会へ行ってきました。レクリエーションへの参加などで長時間車いすに座ることを必要とされる患者様方には、正しい車いす座位の姿勢を保持することが不可欠です。そこで、理想的な座位について学びました。(図1)ところが、このような姿勢をとることが難しい患者様もおられます。中でも、いわゆる「ずっこけ座り」(図2)になられる方が少なくありません。この姿勢の原因は様々で、①腹筋・背筋力の低下②股関節・膝関節が曲がりにくい③背骨が曲がっている(円背)④シートの奥行きがありすぎて膝が圧迫される⑤シートが小さすぎる⑥足置きの高さが高すぎるなどがあります。①・②については、リハビリと同時に、車いすを患者様に合うように調節・改造する必要があります。よく用いられるのがリクライニング車いすですが、骨盤が前方へ押し出されてしまい、前にずり落ちてしまう場合があります。その問題を解決する為に作られたのが振り子式リクライニング車いすです。(図3)この車いすは、シートの座面ごと傾斜させることが可能なため、骨盤が前方に押し出されることなく座ることが可能になります。勿論、食事の時介助が難しいなどの弱点はありますが、自力では座位が取れず、長時間座って耐久性を高める必要のある方には向いていると感じました。今後も、③～⑥に関しても、車いすの調節法などを勉強していきたいと考えます。



【図2】ずっこけ座り



【図3】振り子式リクライニング車椅子



背もたれのリクライニング角度を変えず傾斜が可能

北地区ふるさと祭りに参加して

栄養課 中原幸恵



去る11月4日川北小学校に於いて、北地区ふるさと祭りが行われました。地区内外から多くの人で賑わいを見せる中、我が庄原同仁病院も参加させて頂きました。

患者様の作品や、職員写真同好会の写真、栄養課の手作りおやつを試食、祝い膳やおやつを写真で紹介しました。



これからも庄原同仁病院を多くの人に知っていただき、地域に根ざした医療機関、誰からも信頼される病院を目指して行きたいと思えます。

クリスマス会

理学療法科 岩花和恵

12月20日にクリスマス会をしました。55名もの患者様が参加され、楽しい時間をすごされました。サンタクロースやトナカイも加わり笑顔が絶えないクリスマス会でした。患者様から「子供に戻ったようで楽しかったよ」など感想を頂きとてもうれしかったです。

これからも季節にあった催し物を患者の皆さんと一緒にできたらいいなと思っています。





新聞委員のつぶやき ～家族の絆～ 伊達信介



1病棟では約20人の患者さんが経口摂取できず経管栄養で1日のほとんどをベッドの上で療養生活をおくっておられます。そうした患者さんは毎日何を考えておられるのだろうか？ また、私達は患者さんに対して何ができるだろう？ 少しでも患者さんの笑顔を引き出せるようになりたいと日々考えて介護しています。そんな中、私がいつも感心させられるのは、見舞いに来られた患者さんの家族の方々が熱心に声かけをされた時、一瞬でも、どんな形であれ意思表示をされるのを見る機会が多い事です。

今回限られたスペースで私が書きたかったのは、患者さんにとって、何十年間共に生活をしてこられた家族との面会は、もっとも嬉しいことであり、絆ってすごいなと改めて感心させられることです。看護・介護させていただく私達も、少しでも心を開いて下さるように日々努力を重ねようと思っています。



田川小学校生徒さんの訪問

管理部 西村美智子

11月22日、田川小学校の5、6年の生徒さん7名と先生2名が当院を訪れ、患者様にはい流しや歌を披露してくださいました。生徒さんたちの元気いっぱいの太鼓と踊りや歌、またひとりひとりの握手に感激され目を細めて喜んでおられました。田川小学校さんは毎年秋に当院を訪れてくださり、はい流しも恒例となり患者様も大変楽しみにしておりましたが、小学校の統廃合により来年度より休校となることになりました。もう生徒さんの顔が見られないのは寂しいですが、これまで当院を訪れてくださった田川小学校の皆さんに感謝の意を述べると共に、新しい学校でのご活躍をお祈りしています。長い間、患者様を元気付けて下さりありがとうございました。

ボランティア紹介

12月14日 谷口様グループ

多彩な衣装で踊りを披露して頂き患者様は大変喜ばれました



12月10日 カットスタジオ「タナカ」のスタッフの皆様にかットボランティアに来ていただきました。

12月22日 アライアンス教会の人達によるクリスマスコンサートを開いていただきました。

患者様作品

冬の寒い中、ちょっとオシャレなミノムシが仲良く並んでいます



新職員紹介

12月21日より環境管理に入職しました。職業訓練校で園芸をならい、今後、当院の植木や花木を担当します。



坂元春江

編集後記

新春のお喜びを申し上げます。

2008年がスタートしました。皆様にとって2008年が良いお年でありますように、そして庄原同仁病院におきましても飛躍の年となるようスタッフ一同、一丸となって頑張っていきたいと思ひます。本年もよろしくお願いいたします。



広報新聞委員

和田理絵